

## 山江村 “<sup>とき</sup>時代の暦”

昭和 50 年。戦後 30 年が経過し、高度経済成長からオイルショックを経験した日本経済は、第 3 次全国総合開発計画の中で、足腰の強い産業を目指し、企業戦士と呼ばれる人たちが世界を駆けずり回っていた。団塊の世代と呼ばれた人たちが成人し、やがて働き盛りとなり、日本経済を引っ張っていく、そのレール引きの幕開けとなったような時代である。3 月には山陽新幹線が博多まで開通。これ以降福岡市の九州での拠点化に拍車がかかっていく。沖縄返還に執念を燃やした佐藤栄作前総理が亡くなり、国民葬が行われたのは 6 月。7 月には、沢松和子が全英テニスで日本人女性初の優勝を遂げた。12 月には、あの 3 億円事件の時効が成立した。“シクラメンのかほり”や、“想い出まくら”、“港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ”などが流行ったのもこの年。映画では、“レニープルース”、“ゴッドファーザー”、“ジョーズ”がヒットし、テレビでは、“日本昔ばなし”、“カックラキン大放送”、“Gメン75”などが放映されていた。



山江村では、3 月 25 日に尾崎小学校の閉校式が行われた。百年間の歴史と伝統にピリオドを打つのは、新しい歴史の出発点とはいえ、卒業生や関係者の胸は寂しさに埋められていたに違いない。

1 月には、県道山江錦線が完成、4 月には、統合され新しくなった山田小学校にスクールバスが登場した。6 月には、東京へホテル使節団が派遣され、江戸川区の子供たちとの交歓が実現した。

1 月には、県道山江錦線が

## ネットワークの大切さ

現代はまさにネットワークの時代です。インターネットがあつという間に普及し、通信技術の進化は私たちの暮らしそのものを大きく変えたといっても言い過ぎではありません。通信だけではなく、人的なネットワーク、文化のネットワーク（コラボレーション）など、さまざまな使い方がされていますが、NPO 活動についてもこの“ネットワーク”がとても大切です。何故なら、ひとでは一人では何もできないし、一つの組織では出来ることがごく限られており、大きな夢を実現するためには、何人もの幾つもの力が結集することが必要です。

10 月の理事会で、山江村の地域づくり団体の連携をしようという提案がなされました。それぞれの団体の活動目標や事業内容は異なっていますが、大きな目的はただ一つ、私たちの故郷が元気になり住みやすくなることです。そのために皆が汗を流して非営利活動をしているのです。

山江村では、時間をかけて都市と農村の交流を図るためのさまざまな創意工夫がなされ、関係者の努力により都会の大学生が遊びに来たり、互いの地域の文化の交流を図るなど、関係者の高い評価も得てきました。これらを継続させ、より進化させていくためには、小さな力を結集し、大きなパワーにしていく必要があります。

まずは山江村の志高い人たちの気持ちの一つの方向に向くことができるような環境づくりが必要です。NPO かチャリンクやまえでは、これらの環境づくりに中心となって取り組んでいきたいと考えています。

会員の皆様方の一層のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

発行：NPO 法人かチャリンクやまえ  
〒868-0092 熊本県球磨郡山江村山田甲 1415  
0966-35-7000 fax 0966-35-7001  
email kachari.yamae@gmail.com

# かちやり便り

第 5 号

平成 23 年 11 月 1 日発行

## 紅葉ランチが好評でした

特別企画ランチは、「時の記念日スペシャル弁当」、「夢結びランチ」の後を受け、「お月見ランチ」、「紅葉ランチ」と続いています。皆様の期待を受け、今後も健康応援の特別メニュー続けていきますよ。

11 月は「勤労感謝スペシャル」、12 月は「美肌ランチ」です。乞うご期待！

11 月から、土曜日を営業致します。これまでとはまた違う環境の中で、ゆっくりとおくつろぎ下さい。また、毎月 25 日を「時代の駅居酒屋の日」としました。夕方 6 時からお酒とバイキング料理をお揃いでお楽しみ下さい。



営業時間 11:30 ~ 14:00

日替わりランチ

タイカレー

ハンバーグ定食

生姜焼き定食

旬の野菜入りカレー

季節の野菜てんこ盛り 等

夜の宴会も承ります（要予約）

## 「<sup>とき</sup>時代の暦」遂に完成！

<好評発売中 ¥1,000>

約 1 年にわたって、ワークショップで議論してきた平成 24 年の「山江村時代の暦」が、このたび完成しました。

山江村のこれまでのさまざまな出来事や日本、世界の事件が記されています。自分の誕生日にどんな出来事があったのか興味深く見入る人もいて、人気は上々のようです。

NPO では、皆様方からのご意見を頂戴しながら、次年度以降の対応を決めたいと考えています。どうぞ忌憚のないお声をいただければと思います。



## 「かച്ചりの日」初めての環境保全活動

～新かച്ചりの日活動報告 Vol. 5～

8月の「かച്ചりの日」は環境保全活動とあわせ、5月に予定し台風の影響で延期となっていた「伝助どんの墓」(山江村文化財指定)と時代の駅むらやくば(国登録有形文化財)の除草作業を行いました。



8月7日(日)、NPO会員やNPO活動を支援している(株)フォーリーフジャパン、村内の地域づくりグループの風の会から約20名が参加して、1時間をかけて「伝助どんの墓」までの道の草を払い、墓の周辺の草をむした後、きれいになった「伝助どんの墓」に花と線香を供えて手を合わせました。

その後、時代の駅むらやくばの除草作業を行いました。時代の駅むらやくばの裏手には伝助どんを役人に密告した富左衛門のものといわれる墓があり、参加した人達も不思議な思いで

作業をしていました。

作業終了後は、田村四郎さんから伝助と隠れ念仏について話を聞きました。郷土の歴史を理解する良い機会となりました。次回の環境保全活動は、11月6日(日)に高寺院奥ノ院の清掃活動を行います。

9月21日(水)、リニューアルしてから丸1年目の「かച്ചりの日」を開催。1年ぶりの栗の皮むきが今回のかച്ചり活動でした。昨年よりも数段、皆さん上手になっており、見る見るうちにテーブルの上は栗の鬼皮と渋皮でいっぱいになっていました。

10月は「銘酒を味わう会」と称し、銘酒を味わい会話も弾んで、激しい雷や雨の音にも負けないくらい、楽しい宴で交流を深めました。

皆さんの知恵とアイデアで「かച്ചりの日」の活動が生まれます。是非お気軽にご参加いただき、交流を深め色々な活動をしていきましょう。

かച്ചりとは協働の精神をもってお互いを助け合う、球磨地方の方言です。



### ニンニク畑に弁当配達



10月、下城子のニンニク畑で汗を流しておられる方々に7名分の弁当の配達をしました。弁当の配達長くしていますが、畑への配達は初めてです。ムカゴごはんに「時代の駅農園」の野菜を使ったナマスや白和えなど、健康応援店の面目躍如というところですね。

同じく10月に、稲刈りの休憩時間に、今度はランチの配達をしました。雨が降りそうな天気を気にかけながらも、皆さんおいしく召し上がられたとのこと。嬉しい限りです。

それにしても、何にもない山江の農村風景、何だかカッコよく思えてくるのは私だけですかね。

## ～ シリーズ\*お店紹介コーナー ～

### 今回は山江村山田一丸 ・ **有限会社 やまえ堂** さんです

**やまえ堂**って何すっ所な、知っとる者んなよう知っとるばってん、知らん者んないっちょん知らん。それもそのはず。

元々は**中竹電気製作所**でした。**中竹電気製作所**は昭和61年にスタートし、順調に業績を伸ばして、平成3年には瓦屋工場もオープン。最盛期には社員も50人以上、内職さんが10人以上と、大変にぎやかでした。ところが平成20年のリーマンショックで、仕事が一気に無くなり閉鎖。しかし、代表者の中竹隆博さんが、何か事業を起こして、村民の就業の場の確保と山江村の特産品開発



を『**どぎゃんかせにやいかん**』と思い、再出発したのが**有限会社 やまえ堂**です。

**やまえ堂**では、現在山江栗を使った『**栗の渋皮煮**』を中心に、栗んとう、栗きんとん、他にも栗ジャム等のジャム製品など、約15種類の製品を開発し、道の駅、サービスエリア、お菓子屋さんの他、遠方は東京方面等の一流デパート等にも出荷しており、順調に売り上げを伸ばしているようです。新幹線車内販売のお土産品にも選ばれ、NHK他、県内民放各局からも注目され、紹介されました。ただ、今年の悩みは、原料となる「山江栗」の収穫が少なく、1年分を確保するのが難しかったそうです。

#### 当店スタッフより一言

今は14名のスタッフで、やせる思いで頑張っています。

年末年始の進物用、おみやげにどうぞご利用下さい。予算に応じて、色々な組み合わせができます。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

#### お店紹介取材班より一言

おみやげとは「お土産」と書きます。土地「山江村」の産品「栗等の特産品」これが本当の「おみやげ」ではないでしょうか。きっと喜ばれると思います。



お問い合わせは：**やまえ堂** **クリルク**

又は電話 **24-7324** まで